

狛江市市民活動支援センター こまえくぼ 1 2 3 4

平成 2 8 年度事業報告書

社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

1	はじめに 総括	1
	重点目標と取り組みとその成果	
2	指定管理業務の実施	
2-1	相談・マッチング	2
	(1) 相談	
	(2) マッチング	
2-2	情報の収集と発信	5
	(1) ホームページの構築 (2) 情報紙「えくぼ」の発行	
	(3) 広報誌「こまえがお」の創刊 (4) 情報の収集	
2-3	ネットワーク	7
	(1) 団体交流事業 (2) 活動団体の情報交換会	
	(3) 狛江市ボランティア連絡協議会への参加	
	(4) 近隣および東京都域の市民活動センター等との連携	
2-4	拠点機能	9
	(1) わくわくサロン (2) 寄付文化の醸成 (3) 回収活動	
	(4) 保険の加入受付や相談	
2-5	交流・人材育成・研修	10
	(1) 夏体験ボランティア (2) テーマ別体験プログラム	
	(3) スタートアップ講座 (4) 市民ニーズに基づく事業	
	(5) 春のボラ活川柳グランプリ (6) 体験学習協力	
3	施設管理	14
3-1	施設利用状況	
3-2	フリースペースの活用	
4	指定管理業務の実施にかかった経費の支出状況	15
5	その他指定者が指示する事項	16
5-1	施設の維持管理	
	(1) 清掃業務 (2) 修繕 (3) 施設点検 (4) その他整備	
5-2	サービスの維持向上	
	(1) ご意見箱の設置 (2) 利用者アンケートの実施	

資料

- (1) 主な主催事業の報告書
- (2) 利用者アンケート集計結果

1 はじめに 総括

平成 28 年度重点目標

1 支援センターの PR

支援センターの目的と役割を知ってもらうために、より多くの市民団体、町会・自治会、関係機関、NPO 及び企業などに、職員が出向いて周知を行います。

2 より良い相談対応

さまざまな分野で活動する方々と市民活動に関する思いや要望などを話し合い、一緒に考え、より良い相談対応ができるように努めていきます。

3 情報の収集と発信

市民からのさまざまな相談に対応するために、市民活動団体の活動内容や企業の社会貢献活動などの情報を収集し、整理して発信します。



市民活動支援センター開設 1 年目となる平成 28 年度は、上記 3 つの重点目標を達成するために、次のような取り組みを行いました。

1 狛江市で初めて設置された市民活動支援センターとして、まずは支援センターを知っていただくために、77 団体の会議に足を運び事業についての説明と PR を行いました。また、支援センターの施設の周りには、支援センターが目立つよう、のぼりや横断幕の設置も行いました。まだまだ認知度は十分ではないため、次年度も継続してより多くの方に支援センターを知っていただくための PR を推進していきます。

2 支援センターには、毎月 20 件前後の様々な相談が寄せられ、来館者数も徐々に伸びてきました。相談を受ける中で団体同士のつながりが生まれたり、新しい団体が立ち上がるまでになったりと、徐々にですが市民活動が活発になっていく手ごたえも感じることができました。

また、主に利用団体を対象に実施したアンケートでは、職員の対応や窓口サービスについて、75%の団体から「おおむね満足している」という嬉しい評価をいただきました。

3 情報の収集・発信については、情報誌「えくぼ」の発行に加えて、市民参加による広報誌「こまえがお」の創刊ができたことやホームページが立ち上がったことで、情報に関するツールを充実させることができました。今後はこれらのツールを有効に活用して、多くの市民が市民活動に参加し活動がさらに活発になるように事業等を進めていきます。

運営委員会の委員をはじめ、市民活動団体の皆さんの協力なくしてこの 1 年はありませんでした。2 年目以降は、市民及び市民活動団体の皆さんにとって、さらに利用したくなる魅力ある支援センターを目指していきます。

2 指定管理業務の実施

2-1 相談・マッチング

支援センターの根幹と位置付けられる相談事業では、ボランティアや市民活動に関する相談を、開館中、随時、無料で受付けています。

マッチングは団体と団体あるいは団体と個人とを結び、活動への参加促進や活発化を目指すものです。支援センターが受けた相談や、実施した事業の中から得たニーズ等に対し、支援センターが行う支援のうちの一つです。

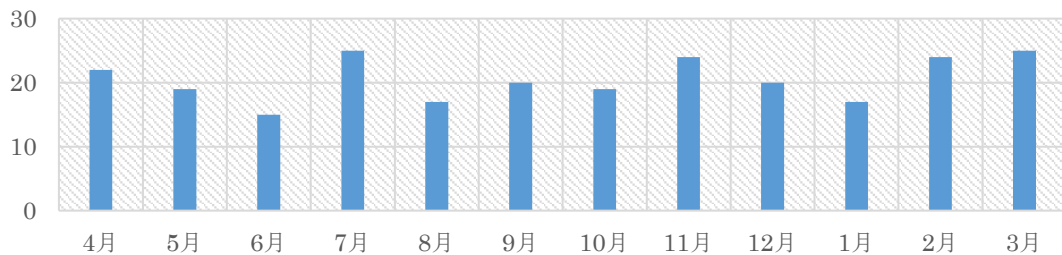
(1) 相談

平成 28 年度の相談件数は、232 件で、同一の相談者からの継続相談も含まれます。毎月約 20 件の相談があり、個人からの相談と団体からの相談はほぼ同じ件数でした。

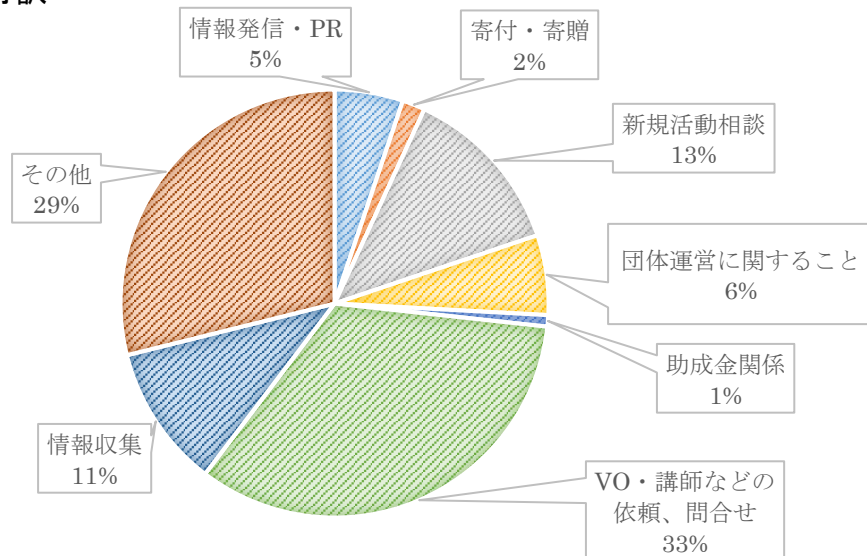
支援センターでは、相談内容を正確に把握し、より良い対応を行うために対面による相談を推奨しています。そのため、来所による相談が 7 割を占めています。

○月別相談件数

(単位：件)

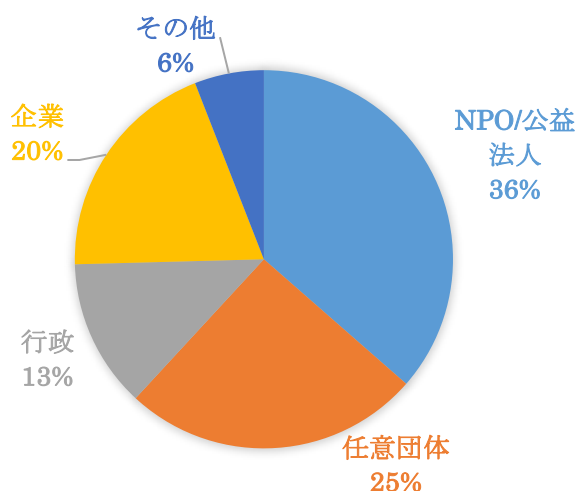


○相談内容内訳



相談内容で最も多いのは「ボランティアや講師などの依頼の問い合わせ」でした。「どんな活動があるか知りたい」「新しく活動を始めたい」「どんな活動があるのか知りたい」「団体の立ち上げを考えている」という相談もあり、そのうち、一つの団体は1年間かけて準備を整え、活動を開始することとなりました。

○相談があった団体の種別の割合



団体等は NPO 法人や公益法人任意団体が 6 割を占めています。企業からの相談もそのほとんどが高齢者施設を運営しているものでした。行政からの問い合わせについては、年間を通し徐々に増えました。

○主な相談事例

相談内容	対応	結果
こども食堂を始めたい	団体設立にあたっての支援、活動場所や協力先とのつなぎ	年度内に団体を立ち上げ、平成 29 年 4 月から食を通した居場所づくりの活動を開始予定
外国籍市民の支援者から部屋の片づけ協力者について	ボランティア対応は難しく業者利用の提案	支援者側の再調査と諸事情により未実施にて終結
高齢障がい課よりエンディングノートの音訳について	視覚障がい当事者とボランティア団体の調整及び打合せ	数回の打合せの後、エンディングノート音訳版の完成

(2) マッチング

行政からの相談もありましたが、主に有料老人ホームからの相談が多く、依頼内容としては行事でのボランティアの依頼などが約 3 割でした。団体と団体、団体と個人のマッチングが全体を占めています。

マッチングが成立するときばかりではなく、お互いの条件（金銭的な問題や日程など）が合わないなどの理由でマッチングが成立しないこともありました。その場合は、再度別の団体とのマッチングを試みています。

○主なマッチング事例

相談元	内容	マッチング先
高齢者施設 (特別養護老人ホーム)	敬老会ボランティアの依頼	ハウオリウクレレメイツ
高齢者施設 (有料老人ホーム)	行事や利用者の希望に沿ったボランティアの依頼	いずみ会
狛江市障害福祉サービス等事業所連絡会	大塚製薬による熱中症対策等に関する協力依頼	大塚製薬
狛江市ボランティア連絡協議会	ボランティアのつどいについての協力依頼	政策室
こども食堂多麻里	参加した子供たちに遊びを提供したい	孫育て昔遊びの会
ごはん+居場所おかえり	団体の立ち上げ支援	みんなの広場 市内農家 2 軒
任意グループ	障がい者支援事業所の立ち上げについて	NPO 法人さつき会
福祉相談課生活支援係	車いす利用者の市長選の投票の付添い	個人ボランティア
高齢障がい課 障がい者支援係	エンディングノートの音訳について	視覚障がい者 音訳ボランティア 3 団体

2-2 情報の発信

市民活動に役立つ情報や、団体の活動情報、イベントや活動者募集のお知らせなどを、ホームページと紙媒体を使って発信を行いました。情報の発信についてはボランティアからなる2つの部会を設置しました。

(1) ホームページの開設

市民活動支援センターのホームページを11月30日に開設しました。これにより登録団体は専用のページを持ち、自分たちの活動について自分たちで発信していくことができるようになりました。当センターへの登録77団体のうち73団体がホームページにも登録され、うち14団体から17件の情報発信がされました。

また、市民から構成される情報部会を立ち上げ、市民活動団体や市民が使いやすいホームページとしていくための検討を行いました。今後は、ホームページをより活用してもらうための説明会等を登録団体向けに実施して行く予定です。



開設からのアクセス数は
15,000件を超えました。

(2) 情報紙「えくぼ」の発行(1号～10号)

支援センターからのお知らせや、市民活動に関する情報(活動者募集や助成金情報など)を掲載した情報紙を年間10回、各号3,700部発行しました。市内個人宅への配布は約460件、市内の施設や店舗等は平成28年度の新規設置先を含む市内101ヶ所に配布しています。

印刷から発送準備、配布には、延べ約25名のボランティアが参加しています。

また、千代田第一工業(株)のご厚意により、毎月の近隣市民への鉢植えプレゼントに合わせ、年間6回情報紙を配布いたしました。

(3) 広報誌「こまえがお」の創刊

市民のボランティア6名からなる広報部会を発足し、広報誌「こまえがお」を創刊いたしました。広報部会では、部会内で協議・決定した編集方針に基づき、広報誌のコンセプトやコーナー等の紙面構成を検討、取材や執筆、校正など発行にかかる活動を行いました。

創刊号は、30,000部を発行、新聞折り込みのほか、情報紙「えくぼ」の配布先への設置いたしました。



広報部会は10月から3月にかけて編集会議を9回開催しました。活発な議論がなされ、市民の視点を活かした、これまでの広報誌にないような、多彩な紙面となりました。広報部会への参加希望も寄せられています。

2-3 ネットワーク

(1) 団体交流事業 【詳細：資料 p.1～p.3】

団体同士が知り合い、地域の課題や団体の課題を共有し、解決に向けて協働するためのきっかけづくりを目的とする事業です。

平成 28 年度は、団体からの相談をもとに実現したプレ企画を実施、そこから得られたニーズをもとに団体交流事業を実施いたしました。

■団体交流事業プレ企画「NPO のホンネ」

日 時：平成 28 年 8 月 6 日（土） 午後 3 時～午後 5 時

場 所：こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース

参加者：9 名（NPO 法人運営者やスタッフ、任意団体活動者）

■団体交流事業「夜、寄る？よるえくぼ」

日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金） 午後 6 時半～午後 8 時

場 所：こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース

参加者：9 名（NPO 法人運営者、任意団体活動者、団体設立を検討する市民）

(2) 活動団体の情報交換会

子どもの成長や子どもの貧困に関する活動団体が増えたため、団体間の情報交換を行う機会を設けました。

日 時：平成 28 年 10 月 2 日（日） 午前 10 時～正午

場 所：こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース

参加団体：孫育て昔遊びの会、子どもの多摩里食堂、NPO 法人こどもの遊びと育ちをささえる会・狛江、こまえチャイルドライン、狛江子ども食堂、NPO 法人フードバンク狛江、ほか個人 1 名

(3) 狛江市ボランティア連絡協議会への参加

狛江市ボランティア連絡協議会は、平成 27 年度までこまえボランティア・センターに事務局をおき「ボランティアのつどい」等のイベントを共催してきましたが、平成 28 年度から、構成団体の自主的な活動により運営を行っています。

支援センターも、狛江市ボランティア連絡協議会の加盟団体として「第 36 回ボランティアのつどい」に参加しました。

■第 36 回ボランティアのつどい

実施日：平成 28 年 9 月 25 日（日） 午前 10 時～午後 3 時

会 場：あいとぴあセンター

参加者：約 720 名

実行委員会：5 月 7 日、6 月 11 日、7 月 9 日、9 月 10 日、10 月 8 日

(4) 近隣及び東京都域の市民活動センター等との連携

① 近隣 5 市のボランティアセンター・市民活動支援センターとの連携

北多摩南部ブロック社協 5 市（府中市、調布市、三鷹市、小金井市、狛江市）のボランティア・市民活動支援センターでは、毎年、広域で取り組む必要のあるテーマについて共催事業を実施しています。

平成 28 年度は、幹事として担当者会議の開催、共催事業のとりまとめを行いました。

■北多摩南部ブロックボランティア・市民活動センター担当者会議

5 月 26 日、6 月 13 日、7 月 4 日、8 月 24 日、10 月 6 日、12 月 22 日、
2 月 6 日、2 月 23 日

■共催事業（こがねい市民まつりで、イザ！カエルキャラバンの実施）

日 時：平成 29 年 3 月 11 日（土）

場 所：武蔵小金井駅南口広場

② 東京都域のセンターとの連携

■熊本地震に関する取り組み

東京ボランティア・市民活動センターの呼びかけにより、5 月から 7 月にかけて実施された都内一斉街頭募金に参加、延べ 67 名の方々にご参加いただき、合計 112,272 円の募金をいただきました。

7 月は北多摩南部ブロックの幹事として、各センターへも呼びかけを行いました。



■首都直下型地震等災害ボランティア連携訓練への参加

訓練及び訓練の企画を行うワーキンググループに参加いたしました。

訓 練：平成 29 年 2 月 21 日（火）午前 10 時 10 分～午後 5 時 30 分

ワーキンググループ：9 月 29 日、10 月 27 日、11 月 18 日、12 月 22 日、
1 月 19 日、2 月 6 日

■市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO2017 への参加

暮らしに関わるさまざまな社会課題に焦点をあて、それを共有し、市民にできることを考えていくためのイベントです。毎年実行委員会が分科会を企画し、実施されています。（実行委員会事務局：東京ボランティア・市民活動センター）

日 時：平成 29 年 2 月 10 日（金）～12 日（日）

場 所：飯田橋セントラルプラザ

実行委員会：7 月 20 日、8 月 5 日、8 月 30 日、9 月 30 日、10 月 18 日、
11 月 8 日、12 月 12 日、1 月 18 日、3 月 9 日

2-4 拠点機能

(1) わくわくサロン【詳細：資料 p.4】

市民活動に興味のある市民や、今後活動したいと考える市民が、既に活動している市民との交流の中から、興味のある活動を見つけ、地域でボランティアや市民活動をしてもらうことを目的としています。

日 時：平成 29 年 3 月 12 日（日）午後 2 時～午後 4 時

場 所：こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース

参加者：12 名（一般参加 9 名、ゲストスピーカー 3 名）

(2) 寄付文化の醸成

平成 28 年 4 月 14 日、16 日に発生した熊本地震を受けて、NPO 法人フードバンク狛江が行う被災地への緊急食糧支援の食品寄贈窓口として協力いたしました。

被災支援終了後は、市内の困窮者への緊急食糧支援のための食品寄贈窓口としての協力を引き続き行っています。フードバンクの活動に賛同する人が当センターに足を運んでくださることで、寄贈者にとってはフードバンクの活動日以外に食品寄贈の窓口ができ、当センターにとってはセンターのPRにつながるものとなりました。

(3) 回収活動

使用済み切手や使用済みカード、インクカートリッジ等を回収し、ボランティア市民活動へ還元しています。

使用済み切手の整理をするボランティアの団体がありましたが活動を終了したため、平成 28 年 6 月から毎月 2 回（第 2・第 3 金曜日午後）、カフェスタイルで、おしゃべりしながら切手整理のボランティア活動をする時間を設けました。年間を通じ、徐々に参加人数が増え、延べ約 70 名の参加となりました。



初めて会う人も何度か顔を合わせているうちに会話を楽しみながら切手の整理をしている姿が見られます。

また、カフェへの参加をきっかけに他の市民活動にも参加した方もいます。

(4) 保険の加入受付

ボランティア・市民活動を安心して行うための支援の一つにボランティア保険と行事保険があります。当センターでは、これらの保険の取扱窓口として、ボランティア・市民活動を安心して行うための支援をしています。

保険料と補償内容によりプランが分かれています。加入状況は以下の通りです。

■ボランティア保険 992 人

■行事保険 226 件(5,455 人)

2-5 交流・人材養成・研修

(1) 夏体験ボランティア【詳細：資料 p.5～p.6】

市民活動への参加の一つとしてボランティア活動があります。体験を通して、様々な社会的問題への関心を深めたり、多様な価値観や自らの生き方、共に生きていくことの意味を考えたりする機会となることを目的として実施いたしました。

申込み受付：平成 28 年 7 月 1 日（金）～8 月 7 日（日）

プログラム参加期間：平成 28 年 7 月 16 日（土）～9 月 10 日（土）

参加者数：67 名

受入団体数：41 名

(2) テーマ別プログラム【詳細：資料 p.7～p.10】

主に小中学生やその保護者を対象に、地域で行われている市民活動にふれる機会を市民活動団体の協力のもと実施いたしました。

普段なかなか市民活動に参加するきっかけの少ない世代が、テーマ性のあるプログラムへ参加することで、将来的に地域で活動してもらうことを目的として実施をしました。

■第 1 回「大人も子どももみんなでチャレンジ そばうち体験教室」

テーマ：世代間交流

日 時：平成 28 年 8 月 28 日（日）午前 10 時～午後 1 時

場 所：あいとぴあセンター 4 階 講座室

参加者：20 名（小学生以下 12 名、保護者 8 名）

協力団体：元祖そば打ち迷人会

■第 2 回「クリーンアップ大作戦！！」

テーマ：環境

日 時：平成 28 年 10 月 2 日（日） 午後 1 時～午後 4 時半

場 所：こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース

参加者：22 名（小中学生 9 名、大学生 13 名）

協力団体：明治大学ボランティアサークル LINK's

(3) スタートアップ講座【詳細：資料 p.11～p.13】

地域で活動する様々な団体やその活動内容をお互いに知ってもらい、これからボランティア活動を志す人や活動中の人々が新たな活動に目を向けてもらえるきっかけづくりの場として、地域センターで全 4 回実施をしました。

■第 1 回 平成 28 年 11 月 5 日（土） 野川地域センター 7 名参加

発表者：野川地域センター運営協議会会長 千葉さん

野川元気スクール代表 山口さん

プチトマトの会代表 会田さん

■第2回 平成28年11月18日（金）南部地域センター 7名参加

発表者：南部地域センター運営協議会副会長 菊池さん
NPO 法人みんなの広場「若葉」代表 高橋さん
個人ボランティア 山下さん

■第3回 平成28年11月20日（日）上和泉地域センター 11名参加

発表者：上和泉地域センター運営協議会会長 武田さん
個人ボランティア 有馬さん

■第4回 平成28年11月27日（日）岩戸地域センター 8名参加

発表者：岩戸地域福祉推進委員会委員長 三角さん
個人ボランティア 有馬さん

（4）市民ニーズに基づく事業【詳細：資料 p.14～p.15】

狛江視覚障がい者の会との共催で福祉講座「視覚障がい者を知ろう」を実施、2日間のプログラムを2回行いました。

視覚障がい者との交流やロールプレイを通して、日常場面で視覚障がい者をサポートできるような方法を学ぶとともに、共生社会を考えてもらうきっかけとなることを目的としています。

■第7回福祉講座 平成28年9月 4日（月）、9月11日（月）

参加者：1日目 15名、2日目 12名

■第8回福祉講座 平成29年2月16日（水）、23日（水）

参加者：1日目 7名、2日目 8名

（5）春のボラ活川柳グランプリ

中学生以下の子ども達を対象に、ボランティアに関心を持ってもらうため、ボランティアに関する川柳を募集しました。ボランティアに関心を持ってもらうことを目的としています。

対象者：中学生以下

応募期間：平成29年3月1日（水）～3月31日（金）

応募方法：支援センター宛てに、所定の用紙で、郵送・FAX・メールにて応募
1人5作品まで

周知：市内小中学校の全児童・全生徒へチラシ配布、地域センター・公民館・児童館等にポスター掲示とチラシ配架

応募数：45名、106作品（小学生9名、中学生37名）

※なお、審査会と表彰については平成29年度に引き続き行います。

(6) 体験学習協力

幼稚園・保育園、小学校からの体験学習の依頼に対して、出前講座や個人・市民活動団体へつなぐなど、体験学習協力を行いました。

①幼稚園・保育園等への支援

市内の幼稚園と認可保育園(幼児クラスのある園)16園のうち、12園から車いす体験又は手話体験のコーディネートの依頼を受けていて、特に今年度は、手話体験について年間を通しての定期的な依頼があり、体験学習への関心の高さがうかがえました。

車いす体験 10 件	
5/2	和泉保育園
5/12	藤塚保育園
5/19	和泉保育園
5/30	三島保育園
6/2	めぐみの森保育園
6/23	子鹿幼稚園
7/8	駄倉保育園
7/22	駒井保育園
8/3	虹のひかり保育園
2/22	東野川保育園みんなの家

手話体験（協力：手話サークル昼の部） 23 件			
6/15	和泉保育園	11/11	藤塚保育園
6/20	藤塚保育園	12/9	三島保育園
6/22	めぐみの森保育園	12/14	藤塚保育園
6/30	ベネッセ狛江南保育園	1/13	藤塚保育園
7/6	多摩川保育園	1/26	三島保育園
7/13	駄倉保育園	2/1	めぐみの森保育園
7/15	藤塚保育園	2/7	藤塚保育園
7/19	狛江保育園	2/8	駄倉保育園
9/8	藤塚保育園	2/15	東野川保育園みんなの家
10/18	駒井保育園	3/15	めぐみの森保育園
10/19	めぐみの森保育園	3/24	藤塚保育園
10/25	藤塚保育園		

水辺の楽校（協力：狛江ほたる村） 1 件	
5/24	駒井保育園
国際理解（協力：ESA アジア教育支援の会） 1 件	
3/17	めぐみの森保育園

②小学校への支援

小学校は、市内 6 校のうち 4 校からの授業協力の依頼がありました。各学校や担当教諭にもよりますが、福祉分野での依頼が多い状況です。今年度は、和泉小学校 5 年生からは、「わら細工指導ボランティア協力依頼」という新たな活度の依頼があり、協力先の開拓を行いました。

今後は、学校支援地域本部のスタートも踏まえ、幅広い分野での授業協力を進めていく予定です。

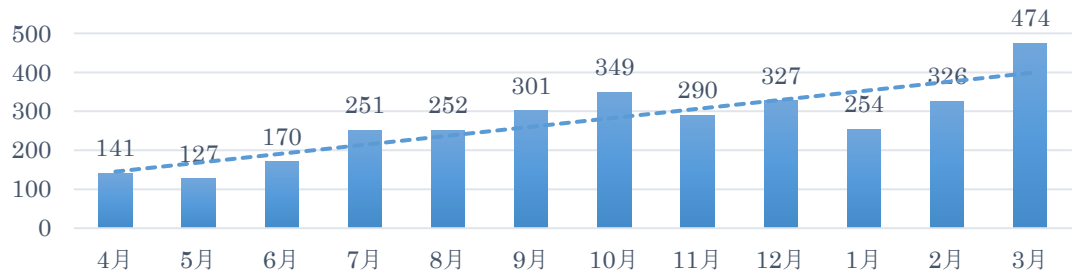
日付	学校名	学年	内容	協力
6/23	緑野小学校	4年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・視覚障がい者のお話 ・アイマスク体験 視覚障がい者(個人)
6/24	緑野小学校	4年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・車椅子利用者のお話 ・車椅子体験 身体障がい者(個人)
9/20 10/18	緑野小学校	4年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・高齢者施設の訪問と 交流 有料老人ホーム3か所
9/28	第一小学校	4年	総合的な学習 「バリアフリーってなあに？」	・視覚障がい者のお話 ・アイマスク体験 視覚障がい者(個人)
10/13	和泉小学校	4年	総合的な学習 「だれもがより良くかわりあう」	・視覚障がい者のお話 ・点字体験 視覚障がい者(個人) 狛江絵本点訳の会コスモス
10/17	緑野小学校	4年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・聴覚障がい者のお話 ・手話体験 狛江手話サークル昼の部
10/17	第一小学校	4年	総合的な学習 「バリアフリーってなあに？」	車いすの貸し出し 社会福祉協議会
10/24 10/28	第一小学校	4年	総合的な学習 「だれもがより良くかわりあう」	・SST(サウトテーブルテニス) の体験 オレンジボール
11/28	第五小学校	4年	総合的な学習 「ユニバーサルデザインを伝えよう」	・視覚障がい者の実際のお話 ・アイマスク体験 視覚障がい者(個人)
12/2	緑野小学校	4年	総合的な学習 「だれにとっても住みよい町をめざして」	・あいとびあセンター見学 狛江市健康推進課 社会福祉協議会
12/9	和泉小学校	5年	総合的な学習 「バケツ稲を育てよう ～お米博士になろう～」	・稲藁で正月飾りづくり 狛江市老人クラブ連合会 あづま会

3 施設管理

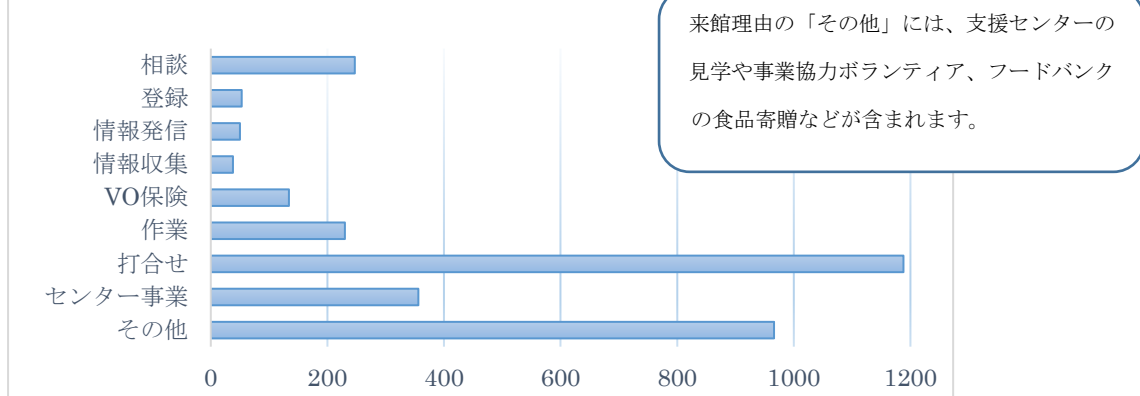
3-1 施設利用状況

平成 28 年度の年間利用者数は 3,262 人でした。そのうち、1,705 人の方が打ち合わせや作業等でフリースペースを利用しています。フリースペースは、オープンなスペースのため予約制ではありませんが、約 15 団体が定期的に利用しています。

○利用者の推移



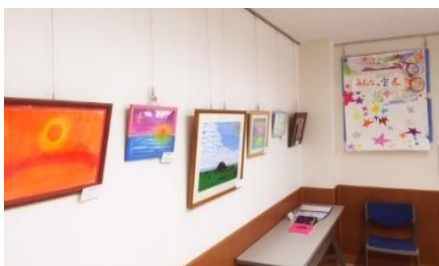
○来館理由



3-2 フリースペースの活用

市民活動の促進や支援センターをより利用のしやすいものにするために、フリースペースの壁面を利用した展示スペースの活用を試行的に実施しました。登録団体まえちゃんのぴあによる「みんなの空展」、昔遊びを教えているボランティアの方の「ブーメラン展」を開催しました。関係者だけでなく、通りがかりの親子が立ち寄ることもありました。

3 月には、こまエスマイルぴーれの「服としあわせのシェア x Change*ぴーれ」を実施し、多くの方に支援センターを知ってもらうきっかけにもなりました。これらの試行的な開催を踏まえ、平成 29 年度は団体によるイベント開催を進めていく予定です。



4 平成 28 年度収支報告

(単位：千円)

科目	現行予算額	項目	執行額	執行率
収入	30,650	(内訳)		
		狛江市受託金	30,500	
		参加費	17	
		雑収入	113	
		合計	30,630	99.93%
人件費	24,314		24,182	98.15%
事業費	3,021	(内訳)		
		諸謝金	131	
		消耗器具備品費	249	
		印刷製本費	73	
		水道光熱費	687	
		修繕費	31	
		通信運搬費	170	
		会議費	17	
		広報費	737	
		保険料	42	
		賃借料	16	
		合計	2,153	71.27%
事務費	2,861	(内訳)		
		研修研究費	49	
		事務消耗品費	636	
		通信運搬費	163	
		会議費	5	
		保守費	256	
		手数料	14	
		賃借料	974	
		諸会費	11	
		実費弁償費	180	
		合計	2,288	79.64%

5 その他指定者が指示する事項

5-1 施設の維持管理

(1) 清掃業務

日常作業で実施(開所日)

12月20日 清掃業務(ジャパンビルホールディングス) 床清掃、ワックスがけ

(2) 修繕

事務スペース照明器具のズレ

フリースペース幅木の滑落

多目的トイレ水道管の水漏れ

(3) 施設点検

12月12日 水道メーター交換2か所

12月20日 空調機法令点検(ジャパンビルホールディングス)

(4) その他整備

12月21日 自動販売機の設置

12月25日 AED設置

5-2 サービスの維持向上

(1) ご意見箱の設置

来館者からの意見等を取り入れ、改善できる点については以下のように対応しました。

- ・場所が分かりにくい ⇒ 高架下駐輪場のフェンスに看板設置
のぼり・横断幕の設置



- ・予約して利用ができるとよいなど ⇒ 団体によるイベント開催を29年度より実施
- ・喫茶コーナーがあるとよい ⇒ 自動販売機の設置
- ・フリースペースPCに文書作成ソフトを入れてもらいたい ⇒ Office2016の導入
- ・誰でもトイレの表示があるとよい ⇒ 表示板の設置

その他、「印刷機を設置してほしい」、「開館時間を変更してほしい」等の意見もいただいていますので、これらについては今後検討していきます。

(2) 利用者アンケートの実施【詳細：資料 p.16～p.32】

団体などへの支援をより充実したものにするために、施設面と運営面についてのアンケート調査を実施しました。普段から利用していただいている団体からは満足しているという評価もいただいています。施設面でのアンケート結果は、今後の支援センター運営等に反映させて行く予定です。

■施設利用に関するアンケート

調査対象：支援センター登録団体を中心とした市民活動をしている 127 団体

調査方法：メール、郵送、窓口

実施時期：平成29年2月27日（月）～3月12日（日）

■運営に関するアンケート

調査対象：支援センター登録団体を中心とした市民活動をしている 121 団体

調査方法：メール、郵送、窓口

実施時期：平成 29 年 4 月 1 日（土）～4 月 14 日（金）

資 料

- (1) 主な主催事業の事業報告書
- (2) 利用者アンケート集計結果

事業名	団体交流プレ企画「NPO のホンネ」
目的	1 NPO や支援センターが、NPO の抱えている課題について共有し、共に考えるきっかけづくりとして、意見交換の場を試行的に設ける。 2 この機会に出された意見や共有された課題から、活動者や団体のニーズを把握し、事業や市民活動団体への支援や相談活動に反映させていくものとする。
日時	平成 28 年 8 月 6 日（土）午後 3 時～午後 5 時
会場	狛江市市民活動支援センター こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース
参加者	9 名（NPO 法人運営者・スタッフ、任意団体活動者）
実施概要	1 対象 NPO の運営者、スタッフ（法人格の有無を問わない）、NPO 法人格の取得を検討している団体の活動者、NPO の支援を行いたい人など 2 内容 日頃感じる課題等を自由に発言し、共有する。 ・自己紹介、団体（活動）紹介 ・悩みや課題についてフリートーク ・今後に向けての検討 3 参加費 100 円（フリードリンク制）
成果	・支援センターの相談から得られたニーズをもとに、企画段階から市民に関わってもらい、プレ企画として実施することができたこと。 ・具体的な提案として、今後支援センターでこういった取り組みが行えると良いか検討を行い、「勉強会と交流のセットになったもの」「分野やテーマごとの情報交換会」「NPO ではない他の分野の団体等（防災組織や商工会等）とも交流や話がしたい」などが得られたこと。（繋がりと広がり）
課題	・今回はニーズ調査も兼ね、意見交換を主に行ったが、課題共有とともに課題解決に役立つ事業や支援方法の検討する必要がある。 ・課題の中には支援センターの支援行政等への働きかけや連携が必要なものがある。今回具体的提案を中心に、支援センターとして必要な支援を取り組んでいかなければならない。

事業名	団体交流サロン「夜、寄る？よるえくぼ Part1」
目的	1 ボランティア・市民活動を行う団体や個人、公益的な活動を行う企業や地縁組織の取り組みを知る。 2 団体や個人が出会い、知らなかったことを知りあい、協働するためのきっかけづくりの場とする。
日時	平成 29 年 2 月 24 日（金）午後 6 時 30 分～午後 8 時
会場	狛江市市民活動支援センター こまえくぼ 1 2 3 4 フリースペース
参加者	9 名（NPO 法人スタッフ・運営者、ボランティアグループ活動者、団体の立ち上げを検討する市民など）
実施概要	1 あいさつ ゲストスピーカーの紹介 狛江市商工会 事務局長 川久保享氏 2 ゲストスピーカーのお話し テーマ：知りたい地元企業のまちづくり ・商工会と地元企業の取り組みについて ・商工会の概要、狛江市商工会の行う相談を中心とした事業 ・地域のお祭り等への協力や「まちゼミ」事業など ・狛江市商工会と会員である地元の企業の地域貢献活動について ・その他 3 参加者交流 参加費：100 円（ソフトドリンク代として）



成 果	・商工会の取組みについて詳しく聞くことができた。質疑が活発であり、参加者からも「知らないことを知ることができた」との声があった。 ・「まちゼミ」のような会員企業が知識や技術を市民に提供する取組みについて、市民活動団体からの相談もできることがわかった。 ・商工会は、事業を実施していれば NPO 等の市民活動団体でも会員になることができ、会員でなくても可能な範囲で相談を受け付けることがわかった。特に経営面における団体の相談先が広がった。 ・開催後、参加者のうち NPO 法人を運営する 2 名から商工会に相談があり、実際に商工会と団体との繋がりができた。
課 題	・広報について周知先が少なく、また期間を十分取らなかったため、参加者が 9 名と少なかった。 →次回以降、活用する広報媒体を増やすなどの改善の必要がある。 ・ゲストスピーカーへの質問が多くあったため、参加者同士の交流の時間を十分に取ることができなかった。 →企画のタイムスケジュールや、会場レイアウトに工夫、改善の必要がある。
その他	協力：狛江市商工会

事業名	わくわくサロン「退職後の地域デビュー！50代・60代のあなたへ」
目的	1 市民活動支援センターの事業を知る。 2 現在地域でボランティア・市民活動をしている先輩から、地域デビューの仕方やコツを学ぶ。 3 当イベントをきっかけに、自分のキャリアを活かした活動や興味のある活動を見つけ、地域でボランティア・市民活動をするようになる。
日時	平成29年3月12日（日）午後2時～午後4時
会場	狛江市市民活動支援センター こまえくぼ1234 フリースペース
参加者	一般参加 9名 登壇者参加 3名 合計12名
実施概要	1 市民活動支援センター（こまえくぼ1234）の事業説明 2 パネルディスカッション パネリスト ・三國 守 氏 ～趣味を活かしたボランティア～ ・長谷川 まゆみ 氏 ～専門性を活かしたボランティア～ ・三浦 輝久 氏 ～余暇を活かしたボランティア～ 3 交流会
成果	・サロン終了後に、参加者から当日配布した資料の中で興味を持った団体についての問い合わせや活動見学の希望等があった。 ・様々な形のボランティア・市民活動について知ることにより、参加者が「何かしてみよう」と思ったことは、ボランティア・市民活動に繋がるきっかけ作りになった。
課題	・参加人数が少なかった。今回のイベント対象者である退職前後で未だボランティアや市民活動をしていない方々のところに、どのように情報を届けるのか、また、興味をもってもらえるのか等、目を引くチラシの作成や周知方法についての検討。 ・一度のイベントで終わらず、「何かしてみよう」という方々が実際に活動に繋がるように、情報発信や情報提供の工夫をすること。 ・現役時代から地域の活動に興味を持てるような文化の醸成のために、企業や職能団体等への働きかけの仕方を検討すること。

事業名	夏！体験ボランティア２０１６	
目 的	１ ボランティアの活動を通して、様々な社会的問題への関心を深め、地域社会を構成する一市民として積極的に社会づくりに参加することの意義を学ぶ。 ２ ボランティア活動を通じた様々な人々との出会いの中から、多様な価値観や自らの生き方、共に生きていくことの意味を考える機会とする。	
日 時	１ ポスター・チラシ用絵画募集 平成 28 年 5 月 11 日（水）～5 月 29 日（日） ２ 受入団体交流会 平成 28 年 5 月 20 日（金）午後 2 時～午後 4 時 平成 28 年 5 月 21 日（土）午後 6 時～午後 8 時 ３ 参加者説明会 平成 28 年 7 月 2 日（土）午前 10 時～午前 11 時 平成 28 年 7 月 3 日（日）午後 2 時～午後 3 時 平成 28 年 7 月 9 日（土）午後 2 時～午後 3 時 ４ 申込み受付 平成 28 年 7 月 1 日（金）～8 月 7 日（日） ５ プログラム参加 平成 28 年 7 月 16 日（土）～9 月 10 日（土） ６ 参加者の振り返り会 平成 28 年 9 月 11 日（日）午後 2 時～午後 3 時	
会 場	交流会・説明会・申込受付・振り返り会は、市民活動支援センター プログラム参加は、各活動場所	
参加者	１ ポスター・チラシ用絵画応募者数 5 名 (4 作品) ２ 受入団体交流会参加団体数 11 団体 (12 名) ３ 参加者事前説明会参加者数 34 名 ４ 参加者の振り返り会参加者数 1 名 ５ プログラム参加者数 67 名 (延 178 名)	

実施概要		受け入れ団体数	プログラム数	参加者数
	高齢	5	7	30
	障がい	15	28	10
	児童	15	15	74
	国際協力	1	1	13
	環境	1	1	3
	その他	4	4	48
	合計	41	56	178

・ 41 団体中 15 団体は参加者がいなかった。

| 成 果 | - ・ 事前説明会の参加者数が 34 名と多く、小学生低学年の親子参加も数組あり、子どもとともに大人にもボランティアの意義や様々な活動を伝える機会となった。 | | | |
| 課 題 | - ・ ボランティア活動終了後の感想文（受入れ団体へのお礼とフィードバック）の提出率が 25%であった。全ての活動者が感想文を提出できるよう、事前説明会などでは、ボランティア活動の意義などについてより詳しく説明するなど、参加者のモチベーションを上げる方法を検討する。 - ・ 参加者がいなかった 15 団体中、11 団体が障がい分野の団体であったので、参加分野が偏らないような工夫を検討する。 | | | |

事業名	大人も子どももみんなでチャレンジ そば打ち体験教室
目的	1 地域センターを拠点に活動している団体を講師に、小学生と大人を対象にしたプログラムをとおして、多世代が地域の活動に触れる機会とする。 2 世代間の交流を図りながら、地域での活動について知ってもらうきっかけとする。 3 今後、すぐに地域のことを考えたり、活動に参加することが難しくても、選択肢のひとつとして知っておいてもらいたい。
日時	平成 28 年 8 月 28 日（日）午前 10 時～午後 1 時頃
会場	あいとびあセンター 4 階講座室
参加者	小学生以下：12 名 保護者：8 名
実施概要	内容（当日のプログラム） 1 あいさつ（5 分） 2 蕎麦についての説明（10 分） 3 そば打ち体験（60 分） 4 そばの試食・地域参加について、活動者からのお話し（60 分） 5 後片付け、終了あいさつ（30 分）
成果	・これまであまりアプローチできていなかった「保護者」世代の参加があった。 ・そば打ちを体験するだけでなく、地域の活動について、関心を持つてもらうことができた。 ・参加者のうち 2 組は「ボランティアのつどい」へ来場、1 組がその後センターで実施した事業に参加した。 ・「子どもそば打ち教室」の定期的な開催に結びついた。 （本企画の参加者のうち 1 組の親子は常連参加者となった。） ・事業後の振り返りで、協力団体の抱える課題を把握することができた。 （活動準備のための助成金の申請支援につながった）

課 題	・企画へのお手伝いとして、大人（高校生以上）のボランティアも募集したが、実際の参加者は子どもの保護者であった。（親子での参加も可としていたためか） →「活動をはじめたい」相談や、スタートアップ講座等との連携の必要がある。 ・夏の体験ボランティア事業など、相乗効果を狙える事業との連携も検討したい。 ・比較的若い世代（子育て世代）は、すぐに活動に参加することは難しい環境にある人が多い。すぐには参加できないけれども関心を持った人に対して、関心を持ち続けてもらう工夫が必要。（事業のお知らせや情報誌を発送するなど。）
その他	協力：元祖 蕎麦打ち迷人会

事業名	「こまえクリーンアップ大作戦！！」
目的	小学生・中学生・大学生の年代の異なる若い世代と一緒にボランティア活動をすることにより、新しい発見や刺激、地域のつながりをつくる。
日時	平成28年10月2日（日）午後1時～午後4時半
会場	狛江市市民活動支援センター こまえくぼ1234 フリースペース
参加者	・小中学生9名【年長（1）、小1（1）、小3（1）、小4（4）、小6（1）、中1（1）】※介助の必要な小学生1名参加のため付添いとして大人1名同行 ・大学生13名（LINKsメンバー）
実施概要	1 内容 3つのグループに分かれ、グループ毎に狛江市内の各エリアの清掃活動を行い、ゴミの重さを競う。 （あいとぴあ方面、岩戸北方面、西河原公園方面） （1）狛江市市民活動支援センターに集合 （2）参加者のグループ分け （3）主旨・ルール・スケジュールの説明（30分） （4）清掃エリアの決定とグループ毎の作戦会議（45分） （5）狛江市内の清掃活動開始（60分） （6）狛江市市民活動支援センターに戻り集合（つるし量りで計量） （7）振り返り会 ランキング発表（1位：13kg、2位：10kg、3位：2kg） 2 使用道具 トング（LINKs準備） 軍手・ゴミ袋（狛江市環境部清掃課提供） 地図・つるし秤（狛江市市民活動支援センター用意） 3 表彰 1位：エコバッグ 1～3位：賞状 参加賞：飲み物とクリアホルダー
成果	・異なる若い世代と一緒にボランティア活動をすることで、参加者が楽しそうに取り組んでいた。 ・当日使用した道具の提供や、清掃活動を終えた参加者から「拾いきれない程のゴミが落ちている場所がある」という報告を伝えてすぐ対応していただくなど、様々な面での環境清掃課の協力を得ることができた。

課 題	・参加者には様々な対応を必要とする方もいるので、事前に状況把握をする必要がある ・今回、小中学生対象の事業ということで、当日急な対応が必要になることがあった。想定外のことが起きる可能性もあるので、共催団体と対応についての簡単な打合せが必要である。
その他	共催：明治大学ボランティアサークル LINKs

事業名	スタートアップ講座（４回）
目的	1 地域でどのような団体がボランティア活動や市民活動をしているかを知ってもらう。 2 参加者同士の交流 ※団体の発表を聞くことや交流により、参加者が自分の特技などを生かした活動に一步踏み出してけるような場とする。
日時	第１回 平成 28 年 11 月 5 日（土）午前 10 時 ～ 正午 第２回 平成 28 年 11 月 18 日（金）午後 2 時 ～ 4 時 第３回 平成 28 年 11 月 20 日（日）午後 2 時 ～ 4 時 第４回 平成 28 年 11 月 27 日（日）午後 2 時 ～ 4 時
会場	第１回 野川地域センター 第２回 南部地域センター 第３回 上和泉地域センター 第４回 岩戸地域センター
参加者	第１回 野川地域センター 7 名 第２回 南部地域センター 7 名 第３回 上和泉地域センター 11 名 第４回 岩戸地域センター 8 名
実施概要	1 参加対象者 ボランティア活動や地域活動（市民活動）等を行っている団体や個人、今後このような活動を志す方等。 2 内容 第１部 活動体験発表 （１）ボランティア活動や地域活動（市民活動）等を行っている団体や個人の活動体験についてのお話をしてもらう。 ①現在の活動内容と状況 ②活動のきっかけ ③活動を通して良かったことや悩み）等 （２）各会場とも 2～3 団体に概ね 10～15 分くらいを目途にお話をしてもらう。

	第2部 参加者による懇談会 (1) 発表者以外の自己紹介 (2) インタビュー形式で質疑 (3) 意見交換 (4) 簡易なアンケート (5) まとめ
成 果	《全体》 1 少人数であったが、新たにボランティア活動又は市民活動などを通じて地域との繋がりを持ちたいと思う参加者がいたこと。 2 参加団体の活動内容を聞き、興味を持った方が多くいたこと。 3 今まで知らない団体を知った方が多くいたこと。 (地域の中でも多くの団体がいろいろな活動をされているが、団体同士でも知らない団体が多くあることが判明したこと。) 4 各団体の共通として、会員の高齢化が進んでいて、会の継続が危ぶまれていることや会に入会する方が少ない現状を知ることができたこと。 《会場別》 1 野川地域センター (1) 地域との関わりに関心を持った若者が参加してくれたこと。(ボランティア活動への参加・地域への関心) (2) 団体の名前だけでなく、活動内容を知って興味を持たれた方がいたこと。(広がり) (3) 初めて知る活動団体があったこと。(広がり・新しく知る) 2 南部地域センター (1) 団体の話を聞き新しく興味を持った方がいたこと。(広がり) (2) 同じ施設を利用しているのに、新しく団体を知った方がいたこと。(広がり・新しく知る) (3) 参加者で新たなボランティア活動をやりたいと志している方がいたこと。 3 上和泉地域センター (1) 新しく団体を知った方がいたこと。 (2) 参加者で新たなボランティア活動をやりたいと志している方がいたこと。 (3) 地域との関わりに関心を持った方が参加してくれたこと。(ボランティア活動への参加・地域への関心) 4 岩戸地域センター (1) 新しく団体を知った方がいたこと。(広がり・新しく知る) (2) 参加団体に新しく興味を持った方がいたこと。(広がり)

課 題	《全体》 ・市報やチラシ等で広報活動を行ったが、参加者が少なかったこと。 ・若い世代（20代～50代）や新しく活動を始めてみようと思う方の参加が少ないこと。 《会場別》 1 野川地域センター ・団体運営における会員の高齢化により継続性が危ぶまれること。 ・内容が専門的に成りすぎて、目的からずれる場面が生じたこと。 ・予定時間をオーバーしたこと。（時間配分の調整・修正） ・団体活動へ若い世代（20代～40代）の参加が少ないこと。 2 南部地域センター ・委員（団体）の高齢化が進んでいること。 ・委員の受ける方が少なくなっていること。（団体の継続性） ・指導者が高齢化と団体の知名度が低いこと。 ・後継者がいないこと。 3 上和泉地域センター ・役員として責任の重さを感じていること。 ・会員が高齢化で会の存続が危ぶまれていること。 4 岩戸地域センター ・会員の高齢化による運営の存続が難しいこと。（後継者不足） 今回得られた各団体の抱える課題解決に向けて、支援センターとして取り組んでいかなければならない。
-----	--

事業名	福祉講座「視覚障がい者を知ろう」			
目的	《1回目》 1 地域で暮らす視覚障がい者について知り、見えない障がいへの理解と支援方法について知る。 2 子どもも大人も、日常場面で視覚障がい者をサポートできるような方法を学ぶとともに、「見えない人にも優しいまち」を考えるきっかけとし、共生社会について考える 《2回目》 1 街角などで、気軽に声をかけられるようになる。 2 視覚障がい者が見えないがゆえに困っていることについて知る。 3 講座終了後に、ボランティア活動に繋げる。			
日時	《1回目》 (1日目) 平成28年 9月 4日(日) 午前10時～12時 (2日目) 9月11日(日) 午前10時～12時 《2回目》 (1日目) 平成29年 2月16日(木) 午前10時～12時 (2日目) 2月23日(木) 午前10時～12時			
会場	《1回目》 狛江市市民活動支援センター こまえくぼ1234 《2回目》 あいとぴあセンター			
参加者	《1回目》 (1日目) 一般参加 15名 スタッフ参加 9名 合計 24名 (2日目) 一般参加 12名 スタッフ参加 11名 合計 23名 《2回目》 (1日目) 一般参加 7名 スタッフ参加 7名 合計 14名 (2日目) 一般参加 8名 スタッフ参加 8名 合計 16名			
実施概要	《1回目》 (1日目) ・福祉講座についての説明 ・視覚障がいについての概要 ・誘導の仕方について ・アイマスク ・参加者同士で誘導体験 (2日目) ・視覚障がいの方を誘導する体験 ・便利な日常生活品の紹介。 ・見えにくさを体験 ・交流会			

	《 2 回目 》 (1 日 目) ・ 福祉講座を始めた理由についての説明 ・ 狛江視覚障害者の会についての説明 ・ 視覚障がいについての概要 ・ 視覚障がい者への声掛けロールプレイ ・ 視覚障がいの方々との交流会 (2 日 目) ・ アイマスクと誘導体験 ・ 視覚障がい者」との交流会
成 果	《 1 回目 》 ・ 開催日を日曜日にしたことで、ボランティア活動者だけでなく、2 組の親子を含めて様々な職種の方が参加することができた。 ・ 視覚障がい者への質問も多岐にわたり、有意義な講座となった。 ・ 視覚障がいだけでなく、障がいということについての興味や関心が高まったとの意見があった。 《 2 回目 》 ・ 参加者から「座学だけでは分からないことを体験できてよかった」、「声掛けのポイントを学べて良かった」、「街中で声を掛ける勇気をもらった」という、講座の目的につながる感想を得ることができた。 ・ 視覚障がい者も知らなかった郵便支援サービスの情報を得ることができた。 ・ 視覚障がい者にとって、身近な情報を知るための回覧板を見ることができないという現実に気づくことができた。 ・ 参加者が、視覚障害者の会への支援や視覚障がい者のガイドヘルパー講座などに興味を示した。 (後日行われた視覚障害者の会のイベントに 1 名が参加した。)
課 題	・ ボランティア活動をしていない方にも関心を持ってもらえるように、講座の周知方法や開催場所、時期、時間帯等の検討。 ・ 視覚障害者の会への支援などに興味を持った参加者を、どのように活動につなげるかということ。 ・ 視覚障がい者も知らないサービスや回覧板などの情報が、視覚障がい者に届けられていないということについての問題提起と解決に向けての方法を検討する。
その他	主催： 狛江視覚障害者の会 共催： 狛江市市民活動支援センター 協力： あいとぴあヘルパーステーション

市民活動支援センターアンケート調査（運営「ハード面」）集計表

全体	対象件数	回収数	回収率	その他
	127	58	45.67%	

項目 & 分類		件数	率	備考
②活動日 & 時間帯	月 36.21% (21)	午前	9	15.52%
		午後	11	18.97%
		夜間	0	0.00%
		不定期	1	1.72%
	火 36.21% (21)	午前	10	17.24%
		午後	11	18.97%
		夜間	0	0.00%
		不定期	0	0.00%
	水 41.38% (24)	午前	11	18.97%
		午後	13	22.41%
		夜間	0	0.00%
		不定期	0	0.00%
	木 44.83% (26)	午前	8	13.79%
		午後	12	20.69%
		夜間	4	6.90%
		不定期	2	3.45%
	金 36.21% (21)	午前	7	12.07%
		午後	13	22.41%
		夜間	1	1.72%
		不定期	0	0.00%
	土 24.14% (14)	午前	4	6.90%
		午後	8	13.79%
		夜間	2	3.45%
		不定期	0	0.00%
	日 17.24% (10)	午前	4	6.90%
		午後	4	6.90%
		夜間	1	1.72%
		不定期	1	1.72%
	不定期 22.41% (13)	午前	3	5.17%
		午後	1	1.72%
		夜間	1	1.72%
		不定期	8	13.79%

③ 利用の有無 & ④ 利用項目 & ⑫ 未利用の理由	登録 & 利用	◎利用件数	19	32.76%	
		①相談	9	47.37%	
		②Fスペース	14	73.68%	
		③PC利用	1	5.26%	
		④コピー利用	4	21.05%	
		⑤情報コーナー	3	15.79%	
		⑥その他	2	10.53%	
		① 寄贈品の受付			
		② 展示			
	未登録 & 利用	◎利用件数	2	3.45%	
		①相談	0	0.00%	
		②Fスペース	1	50.00%	
		③PC利用	1	50.00%	
		④コピー利用	0	0.00%	
		⑤情報コーナー	2	100.00%	
		⑥その他	0	0.00%	
	登録 & 未利用	◎未利用件数	28	48.28%	
		活動時間合わない	2	7.14%	
		活動日と休館日の重複	0	0.00%	
		他の施設利用	14	50.00%	
		その他	3	10.71%	
		① FSが予約できないため	2		
		② 場所離れている	1		
	未登録 & 未利用	◎未利用件数	9	15.52%	
		活動時間合わない	1	11.11%	
		活動日と休館日の重複	1	11.11%	
		他の施設利用	3	33.33%	
		その他	1	11.11%	
		① 休会中	1		
10517 ⑤ 開館時間	やさしい	とても使いやすい	2	3.45%	
		使いやすい	8	13.79%	
		どちらでもない	4	6.90%	
		使いにくい	3	5.17%	
		とても使いにくい	3	5.17%	
		理由（件数）	16	27.59%	別紙
⑥ 休館日	やさしい	とても使いやすい	2	3.45%	
		使いやすい	7	12.07%	
		どちらでもない	9	15.52%	
		使いにくい	1	1.72%	
		とても使いにくい	2	3.45%	
		理由（件数）	12	20.69%	別紙

⑦ フリースペース (15)	利用内容 (24)	会議・打合せ		13	86.67%	
		資料閲覧		1	6.67%	
		P C利用		3	20.00%	
		コピー利用		3	20.00%	
		その他		4	26.67%	
		①	資料作り	1		
		②	手芸・袋詰め等の作業	1		
		③	作品展示	1		
		④	切手の整理	1		
⑧ フリースペース (15)	不便な理由 (14)	会議/打合せ		9	69.23%	別紙
		資料閲覧		0	0.00%	
		P C利用		2	66.67%	
		コピー機利用		1	33.33%	
		その他		2	50.00%	
⑨ フリースペース	継続利用	打会 合議 せ & (13)	利用したい	12	92.31%	
			利用したくない	0		
			どちらでもない	0		
			記載無し	1	7.69%	
		閱資 覧料 (1)	利用したい	1	100.00%	
			利用したくない	0		
			どちらでもない	0		
			記載無し	0		
		利P 用C (3)	利用したい	3	100.00%	
			利用したくない	0		
			どちらでもない	0		
			記載無し	0		
		コピ ー機 (3)	利用したい	3	100.00%	
			利用したくない	0		
			どちらでもない	0		
			記載無し	0		
		その他 (4)	利用したい	2	50.00%	
			利用したくない	0		
			どちらでもない	0		
			記載無し	2	50.00%	
⑩備品の利用		プロジェクター		3	5.17%	
		Pアンプ&マイク		1	1.72%	
		DVDプレイヤー		0		
⑪今後必要な 備品（要望）		有		7	12.07%	別紙
		無し		10	17.24%	
⑬その他の意見				29	50.00%	別紙

市民活動支援センターアンケート調査（施設「ハード面」）集計表

設問における理由（問5、問6、問8、問11、問13）

問5 開館時間10時から午後5時までですが、利用に当り使いやすさはいかがですか

①とっても使いやすい

- ・ 家事の合間に利用している。
- ・ こまYELLの活動時間と重なり使いやすい

②使いやすい

- ・ 自由に利用できるから（予約がいらない）
- ・ 市の困窮相談窓口と組んでいるため、団体倉庫連絡事務所でも同じ時間でやっているため、年末年始も困らない。
- ・ 時間的には丁度いい
- ・ 困ったときに相談が受けられる。（職員がいる。）
- ・ 駅に近く便利である
- ・ 現在はほぼ間違いなく利用できる。
- ・ 記載無し

③どちらでもない

- ・ チラシ等展示
- ・ 今のままでも問題はない。（できれば開館時間が早くなれば。）
- ・ 活動が休館日と重なることがあるので少し残念です。

④使いにくい

- ・ 夜間利用が出来ると良い
- ・ 活動時間と開館時間が合わない

記載無し

⑤とても使いにくい

- ・ 就業時間に重なって利用しにくい
- ・ コピー代（10円）が高い
- ・ コピー機の使い方がわからない不便である
- ・ 夜間に利用できない
- ・ 場所の予約ができない
- ・ 記載無し

問 6 休館日は火曜日、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）ですが活動に当たり使いやすさはいかがですか

①とっても使いやすい

- ・ 平日仕事なので、土日の開館ありがたい。
- ・ 記載無し

②使いやすい

- ・ 休日がハッキリしている（火曜日休館日）
- ・ 土曜日の開館がよい（土日開館が良い）
- ・ 記載無し

③どちらでもない

- ・ 活動日を休館日から外せばいいので、特に支障なし
- ・ 火曜日の開館を望む
- ・ 土日が利用できるので便利
- ・ 記載無し

④使いにくい

- ・ 祝日に開館してもらいたい

記載無し

⑤とても使いにくい

- ・ 公民会と休館日が同じ
- ・ 祝日が休館日なのでその時にイベント等を行うことがあるが、その時に打合せに利用できない。
- ・ 記載無し

問 8 問7で選んだ利用目的で、利用するうえで何か不便なことがありますか

①会議や打合せで利用する場合

- ・ 夜間利用できないこと（活動日と休館日が重なっている）
- ・ 予約できないこと（FSの予約）
- ・ 他の団体の声が気になる。
- ・ 場所がわからないため
- ・ 特になし
- ・ 記載無し

②資料の閲覧など

③パソコンの利用

- ・ 延長コードが無い
- ・ 特になし
- ・ 記載無し

④コピー機の利用

- ・ 特になし
- ・ 記載無し

⑤その他

- ・ 印刷機がないこと
- ・ 不便なことは無い
- ・ 記載無し

問11 今後、団体活動において必要とされる備品等がありますか

- ・ラミネート機
- ・印刷機
- ・テント
- ・給湯設備
- ・マイク
- ・カラーコピー機

問13 その他のご意見等

- ①夜間会館必要
- ②印刷機の設置
- ③団体の自立に向けた指導性を発揮してもらいたい。
- ④NPO団体の抱える課題の共有を図ってもらいたい。
- ⑤こまえくぼを知らない人が多い
- ⑥学生の利用が増えればいい。
- ⑦閉館時間が早い。
- ⑧こまえくぼが何をするとところか知らない（わからない）。
- ⑨子供に係わるVO団体との交流を増やしてもらいたい。
- ⑩全体利用が出来ない。
- ⑪アンケートの主旨が不明
- ⑫最近是他団体の情報等が届かない。
- ⑫FSを予約制にしてもらいたい
- ⑬夜間会館を希望
- ⑭プライバシーの守れるスペース

アンケート調査票

ご記入にあたりお読みください。

《留意事項》

- 1 アンケート調査は施設（備品）の利用に関する質問が主で、利用者（登録団体を含む）の方を対象としております。
- 2 アンケートの回答は、メール、FAX、郵送のいずれかでお願いします。（郵送の場合は返信用封筒をご利用下さい。）
- 3 ご回答は平成 29 年 3 月 12 日（日）までをお願いします。
- 4 ご回答内容については、目的以外で利用することはございません。
- 5 ご回答は記述又は○をつけて下さい。
- 6 登録団体は平成 29 年 1 月 31 日を基準としております。

《団体（個人）について》

問 1 団体名を教えてください。

（団体名）

問 2 団体（個人）の主たる活動曜日と時間帯を教えてください。

活動曜日	①月 ②火 ③水 ④木 ⑤金 ⑥土 ⑦日 ⑧不定期
活動時間帯	①午前 ②午後 ③夜間 ④不定期

《市民活動支援センターについて》

問 3 市民活動支援センターを利用したことがありますか。

- ①団体登録をして、利用している。
- ②団体登録をしていないが、利用している。
- ③団体登録をしているが、利用はしていない。 ⇒問 12・13 へ進んで下さい。
- ④団体登録をしていなく、利用もしていない。 ⇒問 12・13 へ進んで下さい。

問 4 利用したことがある項目はどれか教えて下さい。(複数回答可)

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| ①相談 | ②フリースペースの利用 | ③パソコンの利用 |
| ④コピー機の利用 | ⑤情報コーナーの利用 | |
| ⑥その他 (|) | |

問 5 開館時間は午前 10 時から午後 5 時までですが、利用に当たり使いやすさはいかがですか。

① とても 使い やすい	←	② 使い やすい	←	③ どちら でも ない	→	④ 使い にくい	→	⑤ とても 使い にくい
(選んだ理由をご記入下さい。)								

問 6 休館日は火曜日、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）ですが活動に当たり使いやすさはいかがですか。

① とても 使い やすい	←	② 使い やすい	←	③ どちら でも ない	→	④ 使い にくい	→	⑤ とても 使い にくい
(選んだ理由をご記入下さい。)								

問 7 問 4 で②を選んだ方にお伺いします。利用目的はなんですか。
(複数回答可)

①会議や打合せで利用 ②資料の閲覧で利用 ③パソコンの利用 ④コピー機の利用 ⑤その他
(その他の方は具体的に記入下さい。)

問 8 問 7 で選んだ利用目的で、利用するうえで何か不便なことがありますか。
(理由をご記入下さい。)

①会議や打合せで利用 する場合	(理由)
②資料の閲覧など	(理由)
③パソコンの利用	(理由)
④コピー機の利用	(理由)
⑤その他	(何をしたか・不便な理由を記入)

問 9 問 7 で選んだ利用目的で、今後も利用したいと思いますか。また、理由をご記入ください。（Bを選んだ方は理由もご記入下さい。）

項目	選んで下さい。	理由をご記入下さい。
① 打合せ等で利用	A:利用したい。 B:利用したくない。 C:どちらとも言えない。	
② 資料の閲覧で利用	A:利用したい。 B:利用したくない。 C:どちらとも言えない。	
③ パソコンの利用	A:利用したい。 B:利用したくない。 C:どちらとも言えない。	
④ コピー機の利用	A:利用したい。 B:利用したくない。 C:どちらとも言えない。	
⑤ その他	A:利用したい。 B:利用したくない。 C:どちらとも言えない。	

問 10 市民活動支援センターに置いてある貸出備品（下記表）の利用について伺います。（利用したことのある備品に○をつけて下さい。）

番号	貸出備品名（有料）	○印
1	プロジェクター	
2	ポータブルアンプ&マイク	
3	DVDプレイヤー（館内のみ）	

問 11 今後、団体活動において必要とされる備品等がありますか。

①あります。	②特にありません。
(①の方は備品名(製品名)をご記入下さい。)	

問 12 問 3 で③又は④を選んだ理由をお聞かせ下さい。

①活動時間と開館時間が合わない。 ②活動日と休館日が重なっている。 ③他の施設(公民館や地域センター等)を利用している。 ④その他(理由をご記入下さい。)
--

問 13 その他、支援センターの利用についてご意見等がありましたらお書き下さい。

(意見)

アンケートは以上で終了です。長時間にわたりご協力をいただきありがとうございました。

集計結果はホームページや情報紙(えくぼ)等に掲載いたします。皆様方のご意見が支援センターの運営に反映できるように努力してまいります。

市民活動支援センターアンケート調査（運営「ソフト面」）集計表

アンケート全体			
1 発送数		121	
2 回収数		69	
3 率		57.02%	
設問項目	件数	率(設問)	備考
設問1 センターについて、どのようにして知りましたか (複数可)	67	97.10%	
1 市広報	12	17.91%	
2 こまえボランティアセンター (V0) センターのつながり	46	68.66%	
3 知人から	9	13.43%	
4 チラシ・パンフレット (どこで)	3	4.48%	
① V0関係の会議	1		
▲ 記述無し	2		
5 通りがかり	2	2.99%	
6 情報紙 (どこで)	0	0.00%	
7 こまえくぼ 1 2 3 4	3	4.48%	
8 市役所	5	7.46%	
9 社会福祉協議会	19	28.36%	
10 その他	4	5.97%	
① アンケート用紙で初めて知った。	2		
② 家が近くなので	1		
③ 公民館	1		
△ 記述無し	2	2.90%	
設問2 どのような目的でセンターを利用していますか (複数可)	67	97.10%	
1 相談	13	19.40%	
2 打合せ	13	19.40%	
3 イベント等参加	6	8.96%	
4 他団体との交流	8	11.94%	
5 情報発信	15	22.39%	
6 情報収集	14	20.90%	
7 事務作業	2	2.99%	
8 利用していない	18	26.87%	
9 その他	9	13.43%	
① F S 利用	1		
② 備品の借用 (プロジェクター) (野外アンプ)	2		
③ 人材の紹介 (相談)	1		
④ V0保険の加入	1		
⑤ 取次 (フードバンク・団体活動)	2		
⑥ 切手カフェー	1		
⑦ 定例会や連絡会等	1		
△ 記述無し	2	2.90%	

設問3 どのくらいの頻度で利用していますか		66	95.65%	
1	週2回以上	2	3.03%	
2	週1回程度	0	0.00%	
3	月1～3回程度	10	15.15%	
4	これまでに数回	31	46.97%	
5	利用していない	18	27.27%	
6	その他	4	6.06%	
①	必要に応じて（情報発信・収集コーナー）	2		
②	バラつきはあるが定期的に利用	1		
③	事業等に参加時のみ	1		
△	記述無し	3	4.35%	
設問4 センターを利用することでどのような変化がありましたか （複数可）		53	76.81%	
1	活動しやすくなった（具体的に）	15	28.30%	
①	相談により広がりが見えた（課題解決による前進）	3		
②	場所の確保が出来た（話し合い、立地が良い、場所の予約がいらぬい）	6		
③	備品活用（野外アンプ）による活動範囲が広がる	2		
④	経費（会議費）少なくなった。（利用料が無料）	1		
⑤	人数が多いときに利用	2		
⑥	情報発信がしやすくなった。	1		
▲	記載無し	0		
2	活動に広がりが出た（具体的に）	5	9.43%	
①	施設でのVO活動を始めた（新しく活動を開始）	2		
②	他団体との交流が持てた（知合い増えた）	2		
③	人材の紹介	1		
▲	記載無し	0		
3	情報発信が活発になった	7	13.21%	
4	情報収集がしやすくなった	10	18.87%	
5	他の団体と交流を持てた	8	15.09%	
6	特に変わらない	15	28.30%	
7	その他	3	5.66%	
①	今後の可能性が広がったこと	1		
②	公園の清掃活動なので、利用する必要がないと考えている。	1		
③	あいとぴあから遠くなり不便（車いす）	1		
▲	記載無し	0		
△	記述無し	16	23.19%	
設問5 職員の対応や窓口サービスについて、満足度をお聞 かせください		59	85.51%	
◎	あいさつ・言葉づかい・対応時の印象（感じの良さなど）	59	100.00%	
1	満足	42	71.19%	
2	やや満足	3	5.08%	
3	どちらでもない	14	23.73%	
4	やや不満	0	0.00%	
5	不満	0	0.00%	

△ 記述無し	10	16.95%	
◎ 相談や要望に対する対応	58	98.31%	
1 満足	30		
2 やや満足	13		
3 どちらでもない	13		
4 やや不満	1		
5 不満	1		
△ 記述無し	11	18.64%	
設問6 今後、充実してほしい事業や機能についてお聞かせください (複数可)	64	92.75%	
1 相談機能	13	20.31%	
2 団体の会員やV0の募集、紹介	33	51.56%	
3 協働のコーディネート(団体同士、団体と個人、団体と行政など)	26	40.63%	
4 交流や情報交換の場づくり	25	39.06%	
5 情報提供	17	26.56%	
6 講座や研修会の実施	25	39.06%	
7 特になし	4	6.25%	
8 その他	4	6.25%	
① 助成金の案内	1		
② HPの充実	1		
③ 団体への助言(制度の理解や水準維持への助力)	1		
④ FSの貸出(場所の提供)	1		
▲ 記載無し	0		
設問7 活動する中で、現在課題と思うことはありますか (複数可)	62	89.86%	
1 活動メンバーが固定化している	19	30.65%	
7 異なる分野の活動団体と交流・情報交換の機会が少ない	14	22.58%	
8 必要な情報(補助金、講師の情報、講座の開催情報等)が手に入らない	7	11.29%	
9 イベント等のやり方がわからない	2	3.23%	
10 特になし	6	9.68%	
11 その他	7	11.29%	
① 定期的に部員が集まれないので、発表までいかない。	1		
② 会員(仲間)が集まらない	1		
③ リハーサルできる場所が欲しい(防音・ピアノ等)	1		
④ 行政や社協との密な連携を模索	1		
⑤ 団体活動経費の負担が大きい	1		
▲ 記載無し	2		
△ 記述無し	7	10.14%	
設問8 4月中旬より、センターのスペースを利用してイベント等を実施できるようになります。利用したいと思いますか。	64	92.75%	
1 利用したい。	7	10.94%	
2 条件が合えば利用したい。	33	51.56%	
3 利用したいと思わない。	9	14.06%	
4 わからない。	15	23.44%	
△ 記述無し	5	7.25%	

設問 9	今後も継続してせんたーを利用したいと思いますか	62	89.86%	
1	利用したいと思う	46	74.19%	
2	利用したいと思わない	0	0.00%	
3	どちらとも言えない	16	25.81%	
△	記述無し	7	10.14%	
その他。自由記述		21	30.43%	
①	休会中のため回答なし	1		
②	開館時間の延長（夜間会館）	3		
③	F S利用の予約制	5		
④	高齢化のため、活動は現状維持	1		
⑤	広報誌が良い	1		
⑥	イベントができると良い（FS利用方法）	1		
⑦	アンケートは郵送でなくメール	1		
⑧	地域づくり（人と人の繋がり）	1		
⑨	施設におくパンフレットの窓口を一本化	1		
⑩	コピー代を安く	1		
⑪	こまえくぼの情報等外部から分かるように表示してもらいたい。	1		
⑫	団体の会員募集や紹介を各種媒体を通して大々的に実施	1		
⑬	市から団体活動が良い活動だと言われたが意味が不明（悩み）	1		
⑭	こまえくぼを知らない人が多い	1		
⑮	人が多く集まるように	1		
⑯	駐車場が子どもの遊び場になっている（問題点）	1		
⑰	社協との関係がよくわからない。（問題点）	1		
⑱	F SのP Cでプリンターが使えると良い	1		
⑲	あいとぴあセンター工事中は予約利用可能か？（公民館も）	2		
⑳	お礼	3		
△	記述無し	46	66.67%	

**狛江市市民活動支援センター「こまえくぼ1234」利用者アンケート調査票
＜運営面（ソフト面）に関する調査＞**

狛江市市民活動支援センターの利用者または登録者・登録団体の方を対象としたアンケート調査です。先日送りました施設利用に関する調査とは異なるものです。続けてのアンケート調査になり申し訳ございませんが、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。4月14日（金）までに返信用封筒にてご返送ください。

下記の項目に、記述または○をつけてご回答ください。

設問1 センターについて、どのようにして知りましたか。（複数回答可）

- | | | |
|--------------------|------------------------|------------|
| 1. 市広報 | 2. こまえボランティア・センターのつながり | |
| 3. 知人から | 4. チラシ・パンフレット（どこで | ） |
| 5. 通りがかり | 6. 情報紙（どこで | ） |
| 7. こまえくぼ1234ホームページ | 8. 市役所 | 9. 社会福祉協議会 |
| 10. その他（ | ） | |

設問2 どのような目的でセンターを利用していますか。（複数回答可）

- | | | | |
|---------|---------|------------|------------|
| 1. 相談 | 2. 打合せ | 3. イベント等参加 | 4. 他団体との交流 |
| 5. 情報発信 | 6. 情報収集 | 7. 事務作業 | 8. 利用していない |
| 9. その他（ | ） | | |

設問3 どのくらいの頻度で利用していますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 | 3. 月1～3回程度 |
| 4. これまでに数回 | 5. 利用していない | |
| 6. その他（ | ） | |

設問4 センターを利用することでどのような変化がありましたか。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 活動がしやすくなった（具体的に： | ） |
| 2. 活動に広がりが出た（具体的に： | ） |
| 3. 情報発信が活発になった | 4. 情報収集がしやすくなった |
| 5. 他の団体と交流を持てた | 6. 特に変わらない |
| 7. その他（ | ） |

設問5 職員の対応や窓口サービスについて、満足度をお聞かせください。

○あいさつ・言葉づかい・応対時の印象（感じの良さなど）

- | | | | | |
|-------|---------|------------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらでもない | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|------------|---------|-------|

○相談や要望に対する対応

- | | | | | |
|-------|---------|------------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらでもない | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|------------|---------|-------|

設問6 今後、充実してほしい事業や機能についてお聞かせください。(複数回答可)

- １．相談機能 ２．団体の会員やボランティアの募集、紹介
３．協働のコーディネート（団体同士、団体と個人、団体と行政など）
４．交流や情報交換の場づくり ５．情報提供
６．講座や研修会の実施 ７．特になし
８．その他（

設問7 活動する中で、現在課題と思うことはありますか。(複数回答可)

1. 活動メンバーが固定化している
2. 会員が高齢化している
3. イベント等をしても人が集まらない
4. 活動する場所がない（具体的にどのような場所）
5. 活動を知ってもらう機会が少ない
6. 同じ分野の活動団体と交流・情報交換の機会が少ない
7. 異なる分野の活動団体と交流・情報交換の機会が少ない
8. 必要な情報（補助金、講師の情報、講座の開催情報等）が手に入らない
9. イベント等のやり方がわからない
10. 特になし
11. その他（ ）

設問 8 4 月中旬より、センターのスペースを利用してイベント等を実施できるようになります。利用したいと思いますか。

1. 利用したい 2. 条件が合えば利用したい 3. 利用したいと思わない
4. わからない

設問 9 今後も、継続してセンターを利用したいと思いますか。

1. 利用したい 2. 利用したいと思わない 3. どちらとも言えない

その他、センターについてご意見やご提案がありましたらお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

皆さまのご意見がセンターの運営に反映できるよう努力してまいります。

【狛江市市民活動支援センター こまえくぼ1234】

電話：03-5761-5556 FAX：03-5761-5033

E-mail : info@vc.komae.org